

## メニエル症候群に対するアシクロビルの 治療効果 III 301 例の臨床観察

七 戸 満 雄

医療法人しちのへ内科院長

メニエル病の原因についてはアレルギー説、自己免疫説、ストレス説などがあるが、未だ不明である。患者は長期にわたり、繰り返すめまい、耳鳴りなどの不快な症状に悩まされているが、効果的な治療は確立されていないのが現状である。著者は今日まで知られているメニエル病の症状および病理学的な所見から、その多くは第8脳神経のヘルペスウイルス感染症に基づくと考え、メニエル病患者にアシクロビルを投与し劇的な効果を観察した。

1990年10月から1997年10月まで301例のめまい、

耳鳴りを主訴とするメニエル病および周辺疾患患者にアシクロビン2.000 mg/dayを平均2週間投与した。効果判定はアシクロビル投与前後の他覚所見（主に聴力検査）、自覚的所見は患者から詳細な症状の変化を文章にして提出させ、AAO-HNS基準を参照して判定した。約150例は3年以上観察を続けている。

結果は効果判定可能であった250例中著効89例、有効116例、合わせて205例(82.0%)に効果を認めた。不確かな効果が24例(9.6%)、無効21例(8.4%)であった。副作用は認められなかった。